

令和3年10月29日

第3学年保護者の皆様

境港市立第二中学校

校長 山本 淳一

## 全国学力・学習状況調査について

秋晴の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、5月27日に実施した「全国学力・学習状況調査」につきまして、本校および境港市教育委員会事務局で分析・検討したものを配布いたします。この内容は、本校HP及び境港市教育委員会HPにも公開されます。また、文部科学省のHPにもこの調査に関するポイントや概要が公開されています。

今回の調査結果をもとに校内で十分に検討いたしまして、今後の学習指導・生活指導をより充実させると共に、ご家庭の協力を得ながら、学力の向上、よりよい学校づくりにいかしていきたいと思っております。

なお、個人票（各個人の設問ごとの正答や誤答の状況などがわかるもの）につきまして、も生徒に返却いたします。

\*この調査の結果は成績や高校等の入学試験とは一切関係ありません。

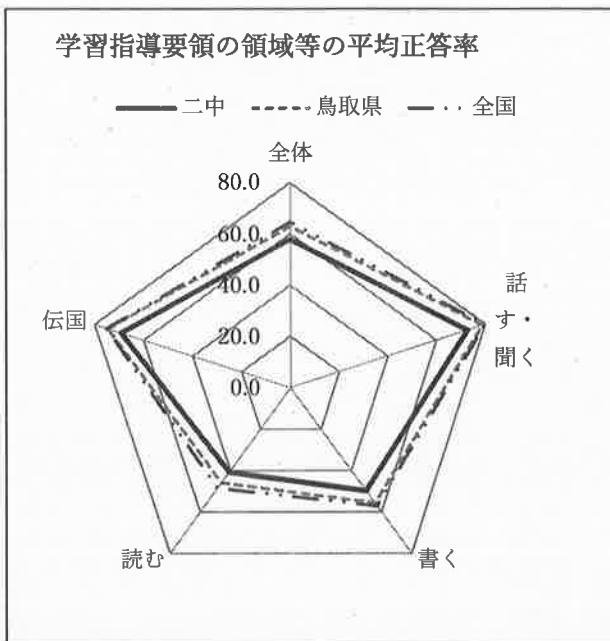
# 令和3年度全国学力・学習状況調査結果 国語

境港市立第二中学校

## 【集計結果】

【評価について】 A：全国平均との差が+3%を超える B：全国平均と同等から+3%まで  
C：全国平均との差が-3%まで D：全国平均との差が-3%を下回る

分類	区分	国語			評価
		平均正答率(%)			
		二中	鳥取県	全国	
	全体	58.0	63.0	64.6	D
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	72.7	78.8	79.8	D
	書くこと	49.8	55.7	57.1	D
	読むこと	40.7	45.8	48.5	D
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.2	74.6	75.1	D
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	44.2	53.6	56.0	D
	話す・聞く能力	72.7	78.8	79.8	D
	書く能力	49.8	55.7	57.1	D
	読む能力	40.7	45.8	48.5	D
	言語についての知識・理解・技能	69.2	74.6	75.1	D
問題形式	選択式	59.6	62.5	63.9	D
	短答式	68.2	73.9	74.4	D
	記述式	44.2	53.6	56.0	D



## 【分析】

### ①話すこと・聞くこと

- ・話し合いの話題や方向を的確に捉えることができる。
- ・話し合いの話題や方向に応じて、話す内容を考えることに課題が見られる。

### ②書くこと

- ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えることに課題が見られる。
- ・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題が見られる。

### ③読むこと

- ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題が見られる。
- ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することに課題が見られる。

### ④伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・文脈に即して漢字を正しく読むことができる。
- ・相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題が見られる。

## 【今後の取り組み】

① 根拠を明確にして自分の考えを話したり、相手の考えを自分と比較しながら正確に聞き取ったりする学習経験を積む必要がある。「話すこと・聞くこと」の単元において、身近な社会生活の中から生徒の意欲・関心が高まるような話題や資料を提示し、ペアまたは少人数グループで考えを伝え合う活動を設定する。また「書くこと」の単元と関連させて、相手に分かりやすく伝えたり、説得力のある意見にしたりするための論理の展開や表現の工夫について学習する。

② 物語文では、細部(情景描写)に注目した後に全体へと視野を広げ、あらすじの展開や心情の変化を捉えるような活動を工夫する。説明的文章では、事実と意見、中心的な部分と付加的な部分(具体例や引用)を読み分けたり、基本的な文章の構成(序論・本論・結論)を意識して読んだりする学習経験を増やしていく。

③ 全ての領域に関連している漢字・語句・文法事項については、継続的に復習する場面を設定する。さらに生活のさまざまな場面を想定し、実際の活用へとつなげていくよう指導する。語感を磨き、語彙を豊かにするために、学校図書館を活用しながら読書習慣の定着を図りたい。

# 令和3年度全国学力・学習状況調査結果 数学

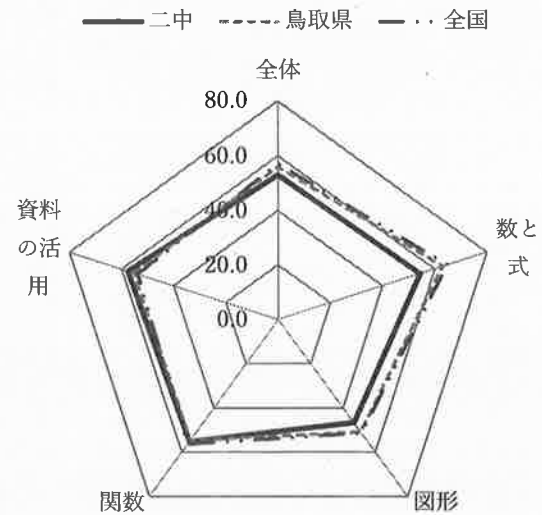
境港市立第二中学校

## 【集計結果】

【評価について】 A：全国平均との差が+3%を超える B：全国平均と同等から+3%まで  
C：全国平均との差が-3%まで D：全国平均との差が-3%を下回る

分類	区分	数学			評価
		平均正答率 (%)			
		二中	鳥取県	全国	
	全体	53.0	56.0	57.2	D
学習指導要領の領域	数と式	54.5	63.1	64.9	D
	図形	46.7	50.8	51.4	D
	関数	55.2	54.6	56.4	C
	資料の活用	57.6	55.3	53.8	A
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	—	—	—	—
	数学的な見方や考え方	35.4	39.2	41.1	D
	数学的な技能	72.4	80.3	77.7	D
	数量や図形などについての知識・理解	65.2	64.6	65.6	C
問題形式	選択式	57.6	51.1	52.4	A
	短答式	66.4	70.8	70.5	D
	記述式	28.5	32.8	35.0	D

学習指導要領の領域等の平均正答率



## 【分析】

全体的に、全国平均を下回る結果となった。領域別で見ると、「資料の活用」の平均正答率は全国より約4%高かったが、「数と式」では約10%低く、「図形」で約5%低かった。また、観点別で見ると、「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」で約5%低かった。具体的には、「数と式」では基本的な計算に関わる問題で、「図形」では平行四辺形に関する問題で、正答率の低さが目立った。また、全体的に説明を要する問題の正答率が低い傾向にあった。

## 【今後の取り組み】

「数と式」「数学的な技能」を高めるために

- ・ドリル学習をするなど計算量を増やすとともに、関連する既習内容の復習をする。
- ・生徒同士の関わりを通して、計算力が身につけていない生徒には基本的計算力を、計算力が身につけている生徒には説明する力を高めさせ、さらなる学力の定着と全体的な学力向上を図る。
- ・数学の苦手な生徒には、計算問題を中心に組み立てるようになるなど、宿題のように自学をする場面でも対応できるようにする。

「図形」「数学的な見方や考え方」を高めるために

- ・機会があるごとに思考力を高める課題を出し、挑戦する姿勢と解く楽しさが味わえるよう工夫する。
- ・関連する既習内容を復習する機会をつくる。

## 【十分に満足いく結果のもの】

質問事項	選択肢	二中	全国
朝食を毎日食べてますか	している どちらかといえばしている	95.9	92.8
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	している どちらかといえばしている	91.9	92.7
自分には、よいところがあると思いますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	80.8	76.2
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	90.9	84.2
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	90.9	95.0
友達と協力するのは楽しいと思いますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	92.9	93.3
学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	そう思う どちらかといえば、そう思う	91.0	93.2

## 【課題があるもの】（全国と比べて差の大きいもの）

質問事項	選択肢	二中	全国
<b>【自分と生活習慣に関すること】</b>			
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	守っている だいたい守っている	47.6	67.9
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	3時間以上	46.4	31.8
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	2時間以上	30.3	41.8
<b>【自分と地域に関すること】</b>			
今住んでいる地域の行事に参加していますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	25.3	43.8
<b>【自分と学校生活に関すること】</b>			
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	当てはまる どちらかといえば、当てはまる	89.9	95.9
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	当てはまる どちらかといえば、当てはまる	64.7	74.7
あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか	ほぼ毎日 週1回以上	4.0	34.8
1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	発表していた どちらかといえば、発表していた	52.5	62.0
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	当てはまる どちらかといえば、当てはまる	48.5	70.2
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	当てはまる どちらかといえば、当てはまる	60.6	73.9
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	当てはまる どちらかといえば、当てはまる	72.7	86.2

## 【分析と今後の取り組み】

## 《分析》

- 毎日朝食を食べることや、就寝・起床時間等の基本的な生活習慣については、ほぼ定着し、落ち着いた生活を送っているように思われる。
- 自分で決断したことは、やり遂げようとする粘り強さがある。
- 物事を前向きにとらえる生徒の割合が比較的多く、自分を生かし、人の役に立とうとする気持ちをもつ
- 家庭学習の項目を見ると、勉強時間が2時間以上取り組んでいる生徒の割合が全国に比べ10%低く、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）時間が3時間以上の生徒の割合が、全国より15%上回っている。このことから、全体的に勉強時間が少なく、自分で計画を立てて勉強できていないと考えられる。
- 地域やボランティアに対する意識はあるが、去年は行事が中止になり、実際に行事等に参加する機会が少なかった。その上、参加する生徒はまだ一部に限られているようである。
- 授業での話し合う活動では、人の話を聞くことはできているが、自分の考えをまとめ、伝えたり、発表したりすることが苦手である。

## 《今後の取り組み》

## 【生活習慣に関すること】

- ◎ 家庭と連携を図りながら、メディアを利用する時間を減らすなど、生活習慣の見直しに取り組んでいきたい。また、適度に課題を設定し、家庭学習の充実に努めていきたい。また、生活ノートによる日々の振り返りやテスト前における学習計画・記録の作成、点検・評価など、時間を有効に利用できるように取り組んでいきたい。

## 【地域に関すること】

- ◎ コロナ禍にあって、地域と関わりを持つ機会は減少しているが、この状況の中で何ができるのかを考えるなど、少しでも地域への関心を深め、地域へ貢献しようとする意欲の向上をはかっていきたい。

## 【学校生活や学習に関すること】

- ◎ 学校行事や学級活動において、個々の生徒が主体的に話し合い、企画・運営したりする経験を積み、達成感を味わうことで、自己有用感や集団への所属感を高めていきたい。その中で、仲間とのつながりも意識させていきたい。
- ◎ 生徒たちの各教科の学習に対する関心・意欲をさらに高めていけるよう、身近な生活と関連付けながら学ぶ意義を考えさせ、魅力のある学習課題の提示や教材の開発、学習内容の工夫、一人1台のICT端末の活用などに努めていきたい。
- ◎ 各教科の授業において、協同学習の理念をもとに授業構想、授業展開を組み立てる。授業では次のポイントを意識する。
  - ① 学習のめあてを具体的に示し、生徒がめあてに対する自己の振り返りができるようにする。
  - ② 概念、法則、意図などを理解し、学習したことをもとに説明したり、活用したりする。
  - ③ 互いの考えを伝え合い、自らの考えを深め、広げる。